

厚生労働科学研究委託費（革新的がん医療実用化研究事業）
委託業務成果報告（業務項目）

消化管がんの病理組織診断および共焦点レーザー顕微内視鏡画像との対比
担当責任者 関根茂樹 国立がん研究センター中央病院 病理科 医長

研究要旨

蛍光内視鏡で用いる蛍光観察による腫瘍観察の所見の分子基盤を理解するため、蛍光発生に重要な GGT の発現分布を組織標本上で明らかにし、蛍光観察所見との相関を明らかにする。

A. 研究目的

蛍光内視鏡で用いる蛍光観察による腫瘍観察の所見の分子基盤を理解するため、組織標本を用いて蛍光発生に重要な GGT の発現分布を組織標本上で明らかにする。

B. 研究方法

病理診断後に余剰となったホルマリン固定・パラフィン包埋標本を用いて、抗 GGT 抗体を用いて免疫組織化学染色を行い、その蛋白発現分布を、ex vivo で得られた蛍光観察像と対比する。

C. 研究結果

本年度中は ex vivo での蛍光観察を行う試料の選定とそのサンプルを用いた免疫染色の手順について打ち合わせを行った。また、免疫組織化学染色に用いる 1 次抗体の選定を行った。

D. 考察

これまでの他臓器での検討で良好な染色が得られている抗体を入手したため、今後染色条件の検討などを行っていく。

E. 結論

内視鏡による蛍光観察の進捗に合わせて検討が可能となるよう、準備を進めていく

F. 健康被害情報

該当無し

G. 研究発表

1. 論文発表

該当無し

2. 学会発表

該当無し

G. 知的財産権の出願・登録状況

該当無し